

中学生  
高校生

# 図書館員がおすすめる本



★発行：志布志市立図書館  
★お問い合わせ先：099-472-3322



(820924900)

『きみの話を聞かせてくれよ』

村上 雅郁/作  
カシワイ/絵 フレーベル館

さまざまな悩みを抱えた中学生たちが、ある生徒と出会い、悩みと向き合い、成長していく物語。

彼らにとっての半年は、おとなにとってのそれとは比べものにならないほど長い時間。だからこそ、今を大切に過ごしてほしいと思える物語です。



有明分館  
(820927341)

『金曜日のあたしたち』

濱野 京子/作 静山社

環境問題についてなんの興味もなかった陽葵が、ある日駅前でプラカードを持って立つ高校生達と出会い、環境問題について興味を持ちはじめ行動へと移していく物語。貧困、経済格差、ジェンダー等についても書かれています。



(820922961)

『つる子さんからの奨学金』

まはら 三桃/作 偕成社

女だからと進学に苦労したひいばあちゃんのつる子は、ひ孫のわかばと樹に奨学金をだしてくれという。しかし、それには条件があって…。

部活の両立や受験勉強に悩みながらも、わかばと樹が最後にだした結論は…。

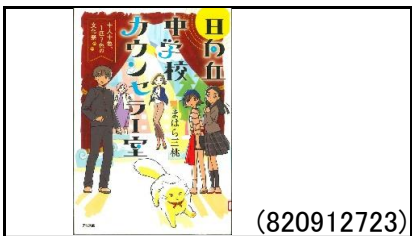


志布志分館  
(811555184)

『青の刀匠』

天沢 夏月/著 ポプラ社

コテツは高二的の夏、家が火事になり親を亡くし顔にやけどを負う。そして、島根にいる親戚の刀鍛冶のおばあさんと暮らすことになった。自分の心身の傷の深さに苦しみながら刀鍛冶の伝統を受け継ぐことの厳しさに苦悩。刀の美の深さを知ることで、コテツは成長していく。読み終えた後、何かにチャレンジしてみようと思えるかもしれません。

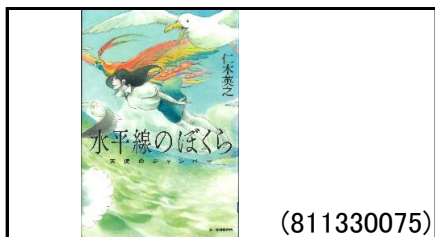


(820912723)

『日向丘中学校カウンセラー室 2』  
十人十色、1匹？色の文化祭

まはら 三桃/著 アリス館  
めばち/装画

中学校の文化祭。カウンセラー室を閉めて、文化祭の校内見学をしようとしていた綾さん。いきなり悩める1人の生徒が相談にやってくる。十人十色と一匹？文化祭の日の十代の心の不安と葛藤…。心があたたまるお話です。



(811330075)

『水平線のぼくら』  
天使のジャンパー

仁木 英之/著 角川春樹事務所

高校2年生の桐隆文は奄美大島の崖から海へジャンプする少女を見かけた。その少女は同じ高校の高橋麻巳。麻巳はノルディック・スキー部を創設する計画をたてる。

奄美大島を舞台に、さわやかな気分に感じさせて、美しい自然と慣習・友情、そして恋。高校生の青春物語です。



(811563873)

『ストロベリームーン』

芥川 なお/著 すばる舎

高校の入学式に出会って数時間で美少女萌と付き合うことになった日向。好きな人と一緒に見ると永遠に結ばれる神話がある赤い満月を見に行き幸せな時間を過ごす。日向は萌に残された時間が少ないことを知る。涙が止まらない感動の本です。



有明分館  
(820918514)

『命のスケッチブック』

中谷 加代子/語り  
小手鞠 るい/構成・文 静山社

大事な命のあり方、守り方について、親子で話し合う場を持って欲しい。自分一人の命ではないと気付かされる本です。



(811560366)

『家が好きな人』

井田 千秋/著 実業之日本社

日常の中でそれぞれ見つけた小さな幸せ。5軒の住人の日常の様子をイラストと共に楽しめる1冊です。温かいイラストで、細かい所まで描かれていて何度も読みたくなる本です。



(820922268)

『あした、弁当を作る。』

ひこ・田中/著 講談社

お弁当を作るのは女の子？母親の仕事？そんなことはない。男の僕だって作っていいはずだ！僕は自分で自分のお弁当を作りたい！！  
中学生になったタツキの心境の変化を描いています。